

姫路市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後					変 更 前				
4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項 [1] ~ [2] 略 (1) 略 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業					4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項 [1] ~ [2] 略 (1) 略 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業				
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項	事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業(駅前広場整備事業)</b>  <b>【内容】</b> 姫路駅北駅前広場の拡張整備(サンクンガーデン整備、交通結節点機能向上(地下街改修、歩行者デッキ・眺望デッキ等・情報発信施設・観光案内情報板等整備) 他) 北駅前広場面積：約1.6ha  <b>【実施時期】</b> <u>H18~H26</u>	姫路市	播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える重要な地区であり、市民も、都心部に来たときめきと憩いを期待する地区である。 このため、国内外から多くの人が訪れる都市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりとうるおいにあふれたにぎわいのある駅前空間とするため、姫路駅北駅前広場を現在の2.5倍(6,400㎡→16,100㎡)に拡張整備する。人が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわいの空間として、現在の駅ビル撤去後の地下空間を活用し、新駅ビルの地下階と地下街とを結ぶサンクンガーデンを整備するとともに、バス、タクシー及び一般車乗降場を機能的に再配置し、歩行者デッキの整備など、公共交通機関の利用者が安全で快適に乗り継ぎができるように交通結節点機能の向上を図る。 さらに、南北駅前広場の役割分担を踏まえた上で、今後、バス事業の再編計画、北駅前広場の実施計画及び環状道路網の整備状況などを見据え、南駅前広場整備計画策定に取り組んでいく。 このように、駅前での新たなにぎわい空間の創出と、JR 姫	<u>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)</u> <u>H23~H26</u>		<u>(4) からの移設</u>				

		<p>路駅、山陽電鉄姫路駅、大手前通り及び周辺街区等を結ぶ地下及びデッキレベルの新たなネットワーク形成により、街なかのにぎわい創出と回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>								
<p><b>駅南土地区画整理事業（姫路駅南西地区）（土地区画整理事業）</b></p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：約 7.4ha</li> <li>・区画道路（幅員 4.0m～11.5m） 延長：1,584m</li> <li>・特殊道路（横断歩道橋：現況利用） 延長：86 m</li> <li>・公園（街区公園 2 箇所） 面積：2,250 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【実施時期】</p> <p><b>H19～H26</b></p>	姫路市	<p>姫路駅の南西に位置する本地区は、中央部から西側には、工場跡地及び関連する倉庫、社宅跡等の未利用地がまとまって残っており、また、地区東側では JR 山陽本線等連続立体交差事業に関連する山陽電鉄線の移設により、旧山陽電鉄線用地が带状に残り、工場跡地とともに有効な土地利用が行われていない状況であり、公共施設の整備も不十分なまま市街化している。</p> <p>そこで、土地区画整理事業の施行により、都心部にふさわしい計画的な市街地として再生することを目的として、都市基盤施設の整備改善を行い宅地の利用増進を図る。</p> <p>JR 山陽本線等連続立体交差事業の進展により南北市街地の一体化が進む中、JR 南側区域での都市基盤施設の整備を進めることにより、街なか居住や新たな商業機能の立地が促進されるため、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>	<p><b>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）</b></p> <p><b>H19～H26</b></p>			<p><b>駅南土地区画整理事業（姫路駅南西地区）（土地区画整理事業）</b></p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：約 7.4ha</li> <li>・区画道路（幅員 4.0m～11.5m） 延長：1,584m</li> <li>・特殊道路（横断歩道橋：現況利用） 延長：86 m</li> <li>・公園（街区公園 2 箇所） 面積：2,250 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【実施時期】</p> <p><b>H19～H24</b></p>	姫路市	<p>姫路駅の南西に位置する本地区は、中央部から西側には、工場跡地及び関連する倉庫、社宅跡等の未利用地がまとまって残っており、また、地区東側では JR 山陽本線等連続立体交差事業に関連する山陽電鉄線の移設により、旧山陽電鉄線用地が带状に残り、工場跡地とともに有効な土地利用が行われていない状況であり、公共施設の整備も不十分なまま市街化している。</p> <p>そこで、土地区画整理事業の施行により、都心部にふさわしい計画的な市街地として再生することを目的として、都市基盤施設の整備改善を行い宅地の利用増進を図る。</p> <p>JR 山陽本線等連続立体交差事業の進展により南北市街地の一体化が進む中、JR 南側区域での都市基盤施設の整備を進めることにより、街なか居住や新たな商業機能の立地が促進されるため、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>	<p><b>まちづくり交付金</b></p> <p><b>H19～H22</b></p>	
<p><b>大手前通り高質空間形成調査（地域創造支援事業）</b></p> <p>【内容】</p> <p>交通シミュレーションや整備方針の検討等の高質空間形成調査</p>	姫路市	<p>姫路駅と世界文化遺産・姫路城を結ぶ大手前通りは、戦災復興土地区画整理事業によって昭和 30 年に完成した。</p> <p>当時としては先進的な広幅員街路であり、また、「日本の</p>	<p><b>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）</b></p> <p><b>H21～H22</b></p>			<p><b>大手前通り高質空間形成調査（地域創造支援事業）</b></p> <p>【内容】</p> <p>交通シミュレーションや整備方針の検討等の高質空間形成調査</p>	姫路市	<p>姫路駅と世界文化遺産・姫路城を結ぶ大手前通りは、戦災復興土地区画整理事業によって昭和 30 年に完成した。</p> <p>当時としては先進的な広幅員街路であり、また、「日本の</p>	<p><b>まちづくり交付金</b></p> <p><b>H21～H22</b></p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長：830m</li> <li>・幅員：50m</li> </ul> <p>【実施時期】 H21～H22</p>		<p>道百選」にも選出されるなど、本市のシンボルロードとしての役割を担っているが、都心部の回遊を促し、にぎわいの創出を図るためのさらなる活用が求められている。</p> <p>そこで、大手前通り整備による自動車交通流動変化を把握し、大手前通りの歩行者優先の道路空間に向けた整備方針の検討を目的に高質空間形成調査を行うことで、にぎわいを創出し、中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを指すものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>姫路公園（大手前公園） 改修事業（公園）</p> <p>（略）</p>	（略）	（略）	（略）	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長：830m</li> <li>・幅員：50m</li> </ul> <p>【実施時期】 H21～H22</p>		<p>道百選」にも選出されるなど、本市のシンボルロードとしての役割を担っているが、都心部の回遊を促し、にぎわいの創出を図るためのさらなる活用が求められている。</p> <p>そこで、大手前通り整備による自動車交通流動変化を把握し、大手前通りの歩行者優先の道路空間に向けた整備方針の検討を目的に高質空間形成調査を行うことで、にぎわいを創出し、中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを指すものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>姫路公園（大手前公園） 改修事業（公園）</p> <p>（略）</p>	（略）	（略）	（略）	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>J R山陽本線等連続立体交差事業</b></p> <p>【内容】</p> <p>(1)連続立体交差事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 山陽本線 市川右岸～中央南北幹線 4,260m</li> <li>・JR 姫新線 姫路駅取付部 1,333m</li> <li>・JR 播但線 姫路駅取付部 1,036m</li> <li>・貨物・車両基地 別所・飾西地区へ移設 10.7ha</li> <li>・山陽電鉄 延末線～姫路駅 870m</li> </ul> <p>(2)連続立体交差事業関連街路整備事業</p> <p>① 交差道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内環状東線 延長 255m 幅員 30m</li> <li>・船場川線</li> </ul>	兵庫県	<p>JR 姫路駅を中心とする地区は、各種交通機関や商業・業務機能が集中する播磨地域の交流拠点であり、社会・経済活動の中心地でもあるが、JR 各線が平面で東西を貫通し、広大な貨物ヤード跡地等が南北交通の流れを妨げ、市街地発展の大きな障壁となっている。こうした状況を踏まえ、姫路駅周辺整備の基幹事業として、JR 姫路駅付近の鉄道高架化を進めることで、踏切の撤去による安全性の確保、交通渋滞の緩和、騒音と排気ガス等の軽減による環境負荷の軽減、南北を結ぶ都市計画道路の大幅な増加による南北交通の円滑化、JR 姫路駅を中心とした南北市街地の一体化を図り、さらに、広大な鉄道施設跡地を活用した新たなまちづくり計画であるキャスティ 2 1 の推進や高架下空間の有効利用などを図るもの</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))</u> <u>(連続立体交差事業)</u></p> <p>S63～H22</p>	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>J R山陽本線等連続立体交差事業</b></p> <p>【内容】</p> <p>(1)連続立体交差事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 山陽本線 市川右岸～中央南北幹線 4,260m</li> <li>・JR 姫新線 姫路駅取付部 1,333m</li> <li>・JR 播但線 姫路駅取付部 1,036m</li> <li>・貨物・車両基地 別所・飾西地区へ移設 10.7ha</li> <li>・山陽電鉄 延末線～姫路駅 870m</li> </ul> <p>(2)連続立体交差事業関連街路整備事業</p> <p>① 交差道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内環状東線 延長 255m 幅員 30m</li> <li>・船場川線</li> </ul>	兵庫県	<p>JR 姫路駅を中心とする地区は、各種交通機関や商業・業務機能が集中する播磨地域の交流拠点であり、社会・経済活動の中心地でもあるが、JR 各線が平面で東西を貫通し、広大な貨物ヤード跡地等が南北交通の流れを妨げ、市街地発展の大きな障壁となっている。こうした状況を踏まえ、姫路駅周辺整備の基幹事業として、JR 姫路駅付近の鉄道高架化を進めることで、踏切の撤去による安全性の確保、交通渋滞の緩和、騒音と排気ガス等の軽減による環境負荷の軽減、南北を結ぶ都市計画道路の大幅な増加による南北交通の円滑化、JR 姫路駅を中心とした南北市街地の一体化を図り、さらに、広大な鉄道施設跡地を活用した新たなまちづくり計画であるキャスティ 2 1 の推進や高架下空間の有効利用などを図るもの</p>	<p><u>街路事業(連続立体交差事業)</u></p> <p>S63～H22</p>	

<p>延長 538m 幅員 30m (2) 関連側道 ・本線高架側道 1号線 延長 582m 幅員 9m</p> <p>【実施時期】 S63～H22</p>		<p>であり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表 (略)</p>				<p>延長 538m 幅員 30m (2) 関連側道 ・本線高架側道 1号線 延長 582m 幅員 9m</p> <p>【実施時期】 S63～H22</p>		<p>であり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表 (略)</p>		
<p><b>姫路駅周辺土地区画整理事業</b></p> <p>【内容】 面積：45.45ha (1)幹線道路 ・大日線 延長：122 m 幅員：36 m ・内環状東線 延長：260 m 幅員：30 m ・内々環状東線 延長：164 m 幅員：25 m ・内々環状西線 延長：118 m 幅員：25 m ・東駅前線 延長：391 m 幅員：25 m ・十二所前線 延長：763 m 幅員：20 m ・下寺町線 延長：423 m 幅員：16～18m ・阿保線 延長：178 m 幅員：15 m ・市之郷線 延長：80 m 幅員：15 m (区画道路 延長：5,298 m 幅員：4～20 m) (2)駅前広場 16,100 m<sup>2</sup> (現況 6,400 m<sup>2</sup>) (3)公園 神屋公園 (6,402 m<sup>2</sup>) 他 2箇所計 16,940 m<sup>2</sup> (4)河川・水路 外堀川、北条川、安田川、他水路計 2,419 m</p> <p>【実施時期】 H元～H28</p>	<p>姫路市</p>	<p>JR 山陽本線等連続立体交差事業にあわせて実施する本事業により、JR 山陽本線等の高架用地の確保とともに、JR 姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る交通体系の確保、都市計画道路、公園、河川等の公共施設の整備改善を行い、新都市拠点としてふさわしい街区を形成し、多様な機能立地を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表 (略)</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(土地区画整理事業)</u> <b>S61～H28</b> <u>社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))</u> <b>H15～H26</b></p>			<p><b>姫路駅周辺土地区画整理事業</b></p> <p>【内容】 面積：45.45ha (1)幹線道路 ・大日線 延長：122 m 幅員：36 m ・内環状東線 延長：260 m 幅員：30 m ・内々環状東線 延長：164 m 幅員：25 m ・内々環状西線 延長：118 m 幅員：25 m ・東駅前線 延長：391 m 幅員：25 m ・十二所前線 延長：763 m 幅員：20 m ・下寺町線 延長：423 m 幅員：16～18m ・阿保線 延長：178 m 幅員：15 m ・市之郷線 延長：80 m 幅員：15 m (区画道路 延長：5,298 m 幅員：4～20 m) (2)駅前広場 16,100 m<sup>2</sup> (現況 6,400 m<sup>2</sup>) (3)公園 神屋公園 (6,402 m<sup>2</sup>) 他 2箇所計 16,940 m<sup>2</sup> (4)河川・水路 外堀川、北条川、安田川、他水路計 2,419 m</p> <p>【実施時期】 H元～H28</p>	<p>姫路市</p>	<p>JR 山陽本線等連続立体交差事業にあわせて実施する本事業により、JR 山陽本線等の高架用地の確保とともに、JR 姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る交通体系の確保、都市計画道路、公園、河川等の公共施設の整備改善を行い、新都市拠点としてふさわしい街区を形成し、多様な機能立地を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表 (略)</p>	<p><u>土地区画整理事業</u> <b>S61～H28</b> <u>連続立体交差関連公共施設整備事業</u> <b>H15～H26</b></p>	
<p><b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業(駅前広場整備事業)(再掲)</b></p>	<p>姫路市</p>	<p>播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))</u> <b>H23～H26</b></p>			<p><u>(4)からの移設</u></p>				

<p>【内容】  姫路駅北駅前広場の  拡張整備（サンクンガ  ーデン整備、交通結節  点機能向上（<u>地下街改  修、歩行者デッキ・眺  望デッキ等・情報発信  施設・観光案内情報板  等整備</u>）他）  北駅前広場面積：約  1.6ha</p> <p>【実施時期】  <u>H18～H26</u></p>		<p>重要な地区であり、市民も、都  心部に来たというときめきと  憩いを期待する地区である。  このため、国内外から多くの  人が訪れる都市の玄関口にふ  さわしく、高質で利便性が高  く、ゆとりとるおいにあふれ  たにぎわいのある駅前空間と  するため、姫路駅北駅前広場を  現在の2.5倍（6,400㎡→16,100  ㎡）に拡張整備する。人が集い、  憩い、また、イベントなどがで  きるにぎわいの空間として、現  在の駅ビル撤去後の地下空間  を活用し、新駅ビルの地下階と  地下街とを結ぶサンクンガー  デンを整備するとともに、バ  ス、タクシー及び一般車乗降場  を機能的に再配置し、歩行者デ  ッキの整備など、公共交通機関  の利用者が安全で快適に乗り  継ぎができるように交通結節  点機能の向上を図る。  さらに、南北駅前広場の役割  分担を踏まえた上で、今後、バ  ス事業の再編計画、北駅前広場  の実施計画及び環状道路網の  整備状況などを見据え、南駅前  広場整備計画策定に取り組ん  でいく。  このように、駅前での新たな  にぎわい空間の創出と、JR 姫  路駅、山陽電鉄姫路駅、大手前  通り及び周辺街区等を結ぶ地  下及びデッキレベルの新たな  ネットワーク形成により、街な  かのにぎわい創出と回遊性の  向上を図るものであり、中心市  街地の活性化に必要な事業で  ある。</p> <p>※図表（略）</p>									
<p>キャストィ 21 エントラ  ンスゾーン整備事業（<u>仮  称</u>）姫路駅西交通広場整</p>	<p>姫路市</p>	<p>姫路駅西側からの駅利用者  の利便性を高めるため、姫路駅  北駅前広場の西側に隣接した  街区に、一般車乗降場などを設</p>	<p><u>社会資本整備  総合交付金(道  路事業(区画)  と一体の効果</u></p>			<p><u>(4)からの移設</u></p>					

<p><b>備事業)</b></p> <p>【内容】 姫路駅北駅前広場西側隣接街区に一般車乗降場などを設置 面積：約 0.3ha</p> <p>【実施時期】 H20～H25</p>		<p>置ることによって、北駅前広場の交通機能を補完するとともに、土地の高度利用を図り、姫路駅西地区の新たなにぎわいを創出するものである。 駅利用者の利便性をさらに高めるとともに、土地の高度利用によるにぎわいの創出を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>促進事業)</u> <u>H24～H25</u></p>						
<p><b>J R 姫路駅自由通路整備事業</b></p> <p>【内容】 ・中央コンコース 延長：100m 幅員：24m ・東側自由通路 延長：100m 幅員：16m ・西側自由通路 延長：100m 幅員：16m</p> <p>【実施時期】 H15～H23</p>	姫路市	<p>JR 山陽本線等の高架下空間に中央コンコースとあわせてJR 姫路駅の南北を結ぶ自由通路を整備することで、山陽電鉄線、南北バスターミナル等の公共交通機関等の乗り継ぎ利便性の向上や駅の南北の安全で快適な歩行者ネットワークを確保するもの。歩行者の利便性や回遊性の向上などにつながるものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>	<p><u>社会資本整備</u> <u>総合交付金(道路事業(街路))</u> <u>(道路交通環境改善促進事業)</u> <u>H15～H23</u></p>		<p><b>J R 姫路駅自由通路整備事業</b></p> <p>【内容】 ・中央コンコース 延長：100m 幅員：24m ・東側自由通路 延長：100m 幅員：16m ・西側自由通路 延長：100m 幅員：16m</p> <p>【実施時期】 H15～H23</p>	姫路市	<p>JR 山陽本線等の高架下空間に中央コンコースとあわせてJR 姫路駅の南北を結ぶ自由通路を整備することで、山陽電鉄線、南北バスターミナル等の公共交通機関等の乗り継ぎ利便性の向上や駅の南北の安全で快適な歩行者ネットワークを確保するもの。歩行者の利便性や回遊性の向上などにつながるものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>	<p><u>街路事業</u> <u>(道路交通環境改善促進事業)</u> <u>H15～H23</u></p>	
<p><b>都心環状道路網の整備</b></p> <p>【内容】 ・内々環状西線 延長：352m 幅員：25m ・内々環状東線 延長：318m 幅員：25m ・内々環状南線 延長：160m 幅員：20m ・内環状東線 延長：400m 幅員：30m</p> <p>【実施期間】 H9～H30</p>	姫路市	<p>中心市街地及び都心部への通過交通を排除し、集散交通を円滑にするため、中環状、内環状、内々環状道路を骨格とした関連道路整備を図るものであり、JR 山陽本線等連続立体交差事業と一体的に道路整備を行い、姫路駅周辺の交通軸の確保を行うものである。 都心交通を円滑化するとともに、安全で快適な歩行者動線を確保することにより、自動車・歩行者・自転車の利用環境の向上、回遊性の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>	<p><u>社会資本整備</u> <u>総合交付金(道路事業(街路))</u> <u>H10～H26</u> <u>社会資本整備</u> <u>総合交付金(道路事業(街路))</u> <u>(連続立体交差関連公共施設整備事業)</u> <u>H14～H26</u></p>		<p><b>都心環状道路網の整備</b></p> <p>【内容】 ・内々環状西線 延長：352m 幅員：25m ・内々環状東線 延長：318m 幅員：25m ・内々環状南線 延長：160m 幅員：20m ・内環状東線 延長：400m 幅員：30m</p> <p>【実施期間】 H9～H30</p>	姫路市	<p>中心市街地及び都心部への通過交通を排除し、集散交通を円滑にするため、中環状、内環状、内々環状道路を骨格とした関連道路整備を図るものであり、JR 山陽本線等連続立体交差事業と一体的に道路整備を行い、姫路駅周辺の交通軸の確保を行うものである。 都心交通を円滑化するとともに、安全で快適な歩行者動線を確保することにより、自動車・歩行者・自転車の利用環境の向上、回遊性の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>※図表（略）</p>	<p><u>街路事業</u> <u>H10～H22</u> <u>連続立体交差</u> <u>関連公共施設</u> <u>整備事業</u> <u>H14～H25</u></p>	
<p><b>都市計画道路整備事業(高尾線)</b></p>	姫路市	<p>高尾線は、本市の中心部である JR 姫路駅の駅前や内々環状道路へのアクセス道路であり、</p>	<p><u>社会資本整備</u> <u>総合交付金(道路事業(街路))</u></p>		<p><b>都市計画道路整備事業(高尾線)</b></p>	姫路市	<p>高尾線は、本市の中心部である JR 姫路駅の駅前や内々環状道路へのアクセス道路であり、</p>	<p><u>街路事業</u> <u>(電線共同溝整備事業)</u></p>	

<p>【内容】 延長:390m 幅員:20m</p> <p>【実施時期】 H20～H24</p>		<p>船場川線及び内々環状西線との電線共同溝のネットワーク化を図るとともに、電線共同溝整備とあわせて歩道拡幅を行い、安全かつ円滑な道路交通の確保及び都市景観の向上を図るものである。</p> <p>中心市街地での安全かつ快適な歩行者・自転車の利用環境の確保及び都市景観の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	H20～H24		<p>【内容】 延長:390m 幅員:20m</p> <p>【実施時期】 H20～H24</p>		<p>船場川線及び内々環状西線との電線共同溝のネットワーク化を図るとともに、電線共同溝整備とあわせて歩道拡幅を行い、安全かつ円滑な道路交通の確保及び都市景観の向上を図るものである。</p> <p>中心市街地での安全かつ快適な歩行者・自転車の利用環境の確保及び都市景観の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	H20～H24	
<p><b>都市計画道路整備事業（船場川線）</b></p> <p>【内容】 延長:602m 幅員:30m</p> <p>【実施時期】 H17～H24</p>	兵庫県	<p>姫路駅西部の内環状道路として、JR 山陽本線等連続立体交差事業と一体的に道路整備を行い、姫路駅周辺の南北交通軸の確保を行うものである。</p> <p>通過交通の抑制や過度な流入交通の抑制等による都心交通の円滑化を図り、自動車・歩行者・自転車の利用環境の向上、回遊性の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))</u> H17～H24</p> <p><u>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))</u> (連続立体交差関連公共施設整備事業) H17～H24</p>		<p><b>都市計画道路整備事業（船場川線）</b></p> <p>【内容】 延長:602m 幅員:30m</p> <p>【実施時期】 H17～H24</p>	兵庫県	<p>姫路駅西部の内環状道路として、JR 山陽本線等連続立体交差事業と一体的に道路整備を行い、姫路駅周辺の南北交通軸の確保を行うものである。</p> <p>通過交通の抑制や過度な流入交通の抑制等による都心交通の円滑化を図り、自動車・歩行者・自転車の利用環境の向上、回遊性の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>街路事業</u> H17～H24</p> <p><u>連続立体交差関連公共施設整備事業</u> H17～H24</p>	
<p><b>電線類地中化事業</b></p> <p>【内容】 ・内々環状東線 延長:140m ・内々環状南線 延長:320m ・内環状東線 延長:800m</p> <p>【実施時期】 S61～H29</p>	姫路市	<p>中心市街地における安全かつ円滑な道路交通の確保及び都市景観の向上を目的として、電線類地中化を実施する事業である。</p> <p>中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))</u> (連続立体交差関連公共施設整備事業) H14～H25</p>		<p><b>電線類地中化事業</b></p> <p>【内容】 ・内々環状東線 延長:140m ・内々環状南線 延長:320m ・内環状東線 延長:800m</p> <p>【実施時期】 S61～H29</p>	姫路市	<p>中心市街地における安全かつ円滑な道路交通の確保及び都市景観の向上を目的として、電線類地中化を実施する事業である。</p> <p>中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>連続立体交差関連公共施設整備事業</u> H14～H22</p>	
<p><b>合流式下水道緊急改善事業</b></p> <p>【内容】 下水道管の流下能力増強等 延長:21,080m</p> <p>【実施時期】 H16～H45</p>	姫路市	<p>雨天時における未処理下水の船場川及び外堀川への流出抑制、中心市街地内での浸水対策として、下水道管の流下能力増強等を実施する事業である。</p> <p>中心市街地において安全・安心に住み、各種活動が展開できる基盤施設整備であり、中心市街地の活性化に向けて必要な事業である。</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(下水道事業)</u> H16～H26</p>		<p><b>合流式下水道緊急改善事業</b></p> <p>【内容】 下水道管の流下能力増強等 延長:21,080m</p> <p>【実施時期】 H16～H45</p>	姫路市	<p>雨天時における未処理下水の船場川及び外堀川への流出抑制、中心市街地内での浸水対策として、下水道管の流下能力増強等を実施する事業である。</p> <p>中心市街地において安全・安心に住み、各種活動が展開できる基盤施設整備であり、中心市街地の活性化に向けて必要な事業である。</p>	<p><u>下水道事業</u> H16～H25</p>	

(3) 略

(3) 略

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(2) ①及び(2) ②に移設</u>				

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業（駅前広場整備事業）</b>  <b>【内容】</b> 姫路駅北駅前広場の拡張整備（サンクンガーデン整備、交通結節点機能向上 他） 北駅前広場面積：約1.6ha  <b>【実施時期】</b> <u>H18～H25</u>	姫路市	播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える重要な地区であり、市民も、都心部に来たというときめきと憩いを期待する地区である。 このため、国内外から多くの人が訪れる都市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりとうるおいにあふれたにぎわいのある駅前空間とするため、姫路駅北駅前広場を現在の2.5倍（6,400㎡→16,100㎡）に拡張整備する。人が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわいの空間として、現在の駅ビル撤去後の地下空間を活用し、新駅ビルの地下階と地下街とを結ぶサンクンガーデンを整備するとともに、バス、タクシー及び一般車乗降場を機能的に再配置し、歩行者デッキの整備など、公共交通機関の利用者が安全で快適に乗り継ぎができるように交通結節点機能の向上を図る。 さらに、南北駅前広場の役割分担を踏まえた上で、今後、バス事業の再編計画、北駅前広場の実施計画及び環状道路網の整備状況などを見据え、南駅前広場整備計画策定に取り組んでいく。 このように、駅前での新たなにぎわい空間の創出と、JR 姫路駅、山陽電鉄姫路駅、大手前通り及び周辺街区等を結ぶ地下及びデッキレベルの新たなネットワーク形成により、街なかのにぎわい創出と回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業で		

<u>(2) ②に移設</u>				
<b>キャストィ 21 コアゾーン整備事業</b> (略)	(略)	(略)		
<b>大手前通り利活用向上事業</b> (略)	(略)	(略)		
<b>高齢者バリアフリー道路特定事業</b> (略)	(略)	(略)		
<b>南駅前町公園整備事業</b> (略)	(略)	(略)		

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項  
略

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

[1] ~ [2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>駅南土地地区画整理事業（姫路駅南西地区）（土地地区画整理事業）（再掲）</b>	姫路市	姫路駅の南西に位置する本地区は、中央部から西側には、工場跡地及び関連する倉庫、社宅跡等の未利用地がまとまっ	<u>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)</u>	

		ある。 ※図表（略）		
<b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業（(仮称) 姫路駅西交通広場整備事業）</b>  【内容】 姫路駅北駅前広場西側隣接街区に一般車乗降場などを設置 面積：約 0.3ha  【実施時期】 H20～H25	姫路市	姫路駅西側からの駅利用者の利便性を高めるため、姫路駅北駅前広場の西側に隣接した街区に、一般車乗降場などを設置することによって、北駅前広場の交通機能を補完するとともに、土地の高度利用を図り、姫路駅西地区の新たなにぎわいを創出するものである。 駅利用者の利便性をさらに高めるとともに、土地の高度利用によるにぎわいの創出を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。		
<b>キャストィ 21 コアゾーン整備事業</b> (略)	(略)	(略)		
<b>大手前通り利活用向上事業</b> (略)	(略)	(略)		
<b>高齢者バリアフリー道路特定事業</b> (略)	(略)	(略)		
<b>南駅前町公園整備事業</b> (略)	(略)	(略)		

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項  
略

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

[1] ~ [2] 略

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>駅南土地地区画整理事業（姫路駅南西地区）（土地地区画整理事業）（再掲）</b>	姫路市	姫路駅の南西に位置する本地区は、中央部から西側には、工場跡地及び関連する倉庫、社宅跡等の未利用地がまとまっ	<u>まちづくり交付金</u> <u>H19～H22</u>	

<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：約 7.4ha</li> <li>・区画道路 (幅員 4.0m～11.5m) 延長：1,584m</li> <li>・特殊道路 (横断歩道橋：現況利用) 延長：86 m</li> <li>・公園(街区公園 2箇所) 面積：2,250 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【実施時期】</p> <p><u>H19～H26</u></p>		<p>て残っており、また、地区東側では JR 山陽本線等連続立体交差事業に関連する山陽電鉄線の移設により、旧山陽電鉄線用地が带状に残り、工場跡地とともに有効な土地利用が行われていない状況であり、公共施設の整備も不十分なまま市街化している。</p> <p>そこで、土地区画整理事業の施行により、都心部にふさわしい計画的な市街地として再生することを目的として、都市基盤施設の整備改善を行い宅地の利用増進を図る。</p> <p>JR 山陽本線等連続立体交差事業の進展により南北市街地の一体化が進む中、JR 南側区域での都市基盤施設の整備を進めることにより、街なか居住や新たな商業機能の立地が促進されるため、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>H19～H26</u></p>		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：約 7.4ha</li> <li>・区画道路 (幅員 4.0m～11.5m) 延長：1,584m</li> <li>・特殊道路 (横断歩道橋：現況利用) 延長：86 m</li> <li>・公園(街区公園 2箇所) 面積：2,250 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【実施時期】</p> <p><u>H19～H24</u></p>		<p>て残っており、また、地区東側では JR 山陽本線等連続立体交差事業に関連する山陽電鉄線の移設により、旧山陽電鉄線用地が带状に残り、工場跡地とともに有効な土地利用が行われていない状況であり、公共施設の整備も不十分なまま市街化している。</p> <p>そこで、土地区画整理事業の施行により、都心部にふさわしい計画的な市街地として再生することを目的として、都市基盤施設の整備改善を行い宅地の利用増進を図る。</p> <p>JR 山陽本線等連続立体交差事業の進展により南北市街地の一体化が進む中、JR 南側区域での都市基盤施設の整備を進めることにより、街なか居住や新たな商業機能の立地が促進されるため、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
--	--	---	-----------------------	--	--	--	---	--	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項	事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>姫路駅周辺土地区画整理事業(再掲)</b></p> <p>【内容】</p> <p>面積：45.45ha</p> <p>(1)幹線道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日線 延長：122 m 幅員：36 m</li> <li>・内環状東線 延長：260 m 幅員：30 m</li> <li>・内々環状東線 延長：164 m 幅員：25 m</li> <li>・内々環状西線 延長：118 m 幅員：25 m</li> <li>・東駅前線 延長：391 m 幅員：25 m</li> <li>・十二所前線 延長：763 m 幅員：20 m</li> <li>・下寺町線 延長：423 m 幅員：16～18m</li> <li>・阿保線</li> </ul>	<p>姫路市</p>	<p>JR 山陽本線等連続立体交差事業にあわせて実施する本事業により、JR 山陽本線等の高架用地の確保とともに、JR 姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る交通体系の確保、都市計画道路、公園、河川等の公共施設の整備改善を行い、新都市拠点としてふさわしい街区を形成し、多様な機能立地を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(土地区画整理事業)</u> <b>S61～H28</b> <u>社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))</u> <b>H15～H26</b></p>		<p><b>姫路駅周辺土地区画整理事業(再掲)</b></p> <p>【内容】</p> <p>面積：45.45ha</p> <p>(1)幹線道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日線 延長：122 m 幅員：36 m</li> <li>・内環状東線 延長：260 m 幅員：30 m</li> <li>・内々環状東線 延長：164 m 幅員：25 m</li> <li>・内々環状西線 延長：118 m 幅員：25 m</li> <li>・東駅前線 延長：391 m 幅員：25 m</li> <li>・十二所前線 延長：763 m 幅員：20 m</li> <li>・下寺町線 延長：423 m 幅員：16～18m</li> <li>・阿保線</li> </ul>	<p>姫路市</p>	<p>JR 山陽本線等連続立体交差事業にあわせて実施する本事業により、JR 山陽本線等の高架用地の確保とともに、JR 姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る交通体系の確保、都市計画道路、公園、河川等の公共施設の整備改善を行い、新都市拠点としてふさわしい街区を形成し、多様な機能立地を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p><u>土地区画整理事業</u> <b>S61～H28</b> <u>連続立体交差関連公共施設整備事業</u> <b>H15～H26</b></p>	

延長:178 m 幅員:15 m ・市之郷線 延長: 80 m 幅員:15 m (区画道路 延長: 5,298 m 幅員: 4~20 m) (2)駅前広場 16,100 m <sup>2</sup> (現況 6,400 m <sup>2</sup> ) (3)公園 神屋公園 (6,402 m <sup>2</sup> ) 他2箇所計 16,940 m <sup>2</sup> (4)河川・水路 外堀川、北条川、安田川、他水路計 2,419 m  <b>【実施時期】</b> H元~H28				
--	--	--	--	--

延長:178 m 幅員:15 m ・市之郷線 延長: 80 m 幅員:15 m (区画道路 延長: 5,298 m 幅員: 4~20 m) (2)駅前広場 16,100 m <sup>2</sup> (現況 6,400 m <sup>2</sup> ) (3)公園 神屋公園 (6,402 m <sup>2</sup> ) 他2箇所計 16,940 m <sup>2</sup> (4)河川・水路 外堀川、北条川、安田川、他水路計 2,419 m  <b>【実施時期】</b> H元~H28				
--	--	--	--	--

- (3) 略  
 (4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>優良建築物等整備事業</b> (略)	(略)	(略)		(略)

- (3) 略  
 (4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>優良建築物等整備事業</b> (略)	(略)	(略)		(略)

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項  
略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項  
略

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] ~ [2] 略

[1] ~ [2] 略

- (1) 略  
 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

- (1) 略  
 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業(駅前広場整備事業)(再掲)</b> <b>【内容】</b> 姫路駅北駅前広場の拡張整備(サンクンガーデン整備、交通結節点機能向上(地下街改修、歩行者デッキ・眺望デッキ等・情報発信施設・観光案内情報板	姫路市	播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える重要な地区であり、市民も、都心部に来たというときめきと憩いを期待する地区である。 このため、国内外から多くの人が訪れる都市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりとうるおいにあふれたにぎわいのある駅前空間と	<u>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)</u> <b>H23~H26</b>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(4)からの移設</u>				

<p><u>等整備</u> 他) 北駅前広場面積：約1.6ha</p> <p>【実施時期】 <u>H18～H26</u></p>		<p>するため、姫路駅北駅前広場を現在の2.5倍(6,400㎡→16,100㎡)に拡張整備する。人が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわいの空間として、現在の駅ビル撤去後の地下空間を活用し、新駅ビルの地下階と地下街とを結ぶサンクンガーデンを整備するとともに、バス、タクシー及び一般車乗降場を機能的に再配置し、歩行者デッキの整備など、公共交通機関の利用者が安全で快適に乗り継ぎができるように交通結節点機能の向上を図る。</p> <p>さらに、南北駅前広場の役割分担を踏まえた上で、今後、バス事業の再編計画、北駅前広場の実施計画及び環状道路網の整備状況などを見据え、南駅前広場整備計画策定に取り組んでいく。</p> <p>このように、駅前での新たなにぎわい空間の創出と、JR姫路駅、山陽電鉄姫路駅、大手前通り及び周辺街区等を結ぶ地下及びデッキレベルの新たなネットワーク形成により、街なかのにぎわい創出と回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>							
<p>姫路城周辺観光ループバス事業</p> <p>(略)</p>	(略)	(略)	(略)						

<p>姫路城周辺観光ループバス事業</p> <p>(略)</p>	(略)	(略)	(略)						

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>JR山陽本線等連続立体交差事業(再掲)</b></p> <p>【内容】</p> <p>(1)連続立体交差事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR山陽本線 市川右岸～中央南北幹線 4,260m</li> <li>・JR姫新線 姫路駅取付部 1,333m</li> <li>・JR播但線</li> </ul>	兵庫県	<p>JR姫路駅を中心とする地区は、各種交通機関や商業・業務機能が集中する播磨地域の交流拠点であり、社会・経済活動の中心地でもあるが、JR各線が平面で東西を貫通し、広大な貨物ヤード跡地等が南北交通の流れを妨げ、市街地発展の大きな障壁となっている。こうした状況を踏まえ、姫路駅周辺整</p>	<p><u>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))</u></p> <p><u>(連続立体交差事業)</u></p> <p>S63～H22</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>JR山陽本線等連続立体交差事業(再掲)</b></p> <p>【内容】</p> <p>(1)連続立体交差事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR山陽本線 市川右岸～中央南北幹線 4,260m</li> <li>・JR姫新線 姫路駅取付部 1,333m</li> <li>・JR播但線</li> </ul>	兵庫県	<p>JR姫路駅を中心とする地区は、各種交通機関や商業・業務機能が集中する播磨地域の交流拠点であり、社会・経済活動の中心地でもあるが、JR各線が平面で東西を貫通し、広大な貨物ヤード跡地等が南北交通の流れを妨げ、市街地発展の大きな障壁となっている。こうした状況を踏まえ、姫路駅周辺整</p>	<p><u>街路事業(連続立体交差事業)</u></p> <p>S63～H22</p>	

<p>姫路駅取付部 1,036m ・貨物・車両基地 別所・飾西地区へ移設 10.7ha ・山陽電鉄 延末線～姫路駅 870m (2)連続立体交差事業 連街路整備事業 ① 交差道路 ・内環状東線 延長 255m 幅員 30m ・船場川線 延長 538m 幅員 30m (2) 関連側道 ・本線高架側道 1号線 延長 582m 幅員 9m  【実施時期】 S63～H22</p>		<p>備の基幹事業として、JR 姫路駅付近の鉄道高架化を進めることで、踏切の撤去による安全性の確保、交通渋滞の緩和、騒音と排気ガス等の軽減による環境負荷の軽減、南北を結ぶ都市計画道路の大幅な増加による南北交通の円滑化、JR 姫路駅を中心とした南北市街地の一体化を図り、さらに、広大な鉄道施設跡地を活用した新たなまちづくり計画であるキャストィ 21 の推進や高架下空間の有効利用などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>			<p>姫路駅取付部 1,036m ・貨物・車両基地 別所・飾西地区へ移設 10.7ha ・山陽電鉄 延末線～姫路駅 870m (2)連続立体交差事業 連街路整備事業 ① 交差道路 ・内環状東線 延長 255m 幅員 30m ・船場川線 延長 538m 幅員 30m (2) 関連側道 ・本線高架側道 1号線 延長 582m 幅員 9m  【実施時期】 S63～H22</p>		<p>備の基幹事業として、JR 姫路駅付近の鉄道高架化を進めることで、踏切の撤去による安全性の確保、交通渋滞の緩和、騒音と排気ガス等の軽減による環境負荷の軽減、南北を結ぶ都市計画道路の大幅な増加による南北交通の円滑化、JR 姫路駅を中心とした南北市街地の一体化を図り、さらに、広大な鉄道施設跡地を活用した新たなまちづくり計画であるキャストィ 21 の推進や高架下空間の有効利用などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>			
<p>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業（駅前広場整備事業）（再掲）  【内容】 姫路駅北駅前広場の拡張整備（サンクンガーデン整備、交通結節点機能向上（<u>地下街改修、歩行者デッキ・眺望デッキ等・情報発信施設・観光案内情報板等整備</u>）他） 北駅前広場面積：約 1.6ha  【実施時期】 <u>H18～H26</u></p>	<p>姫路市</p>	<p>播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える重要な地区であり、市民も、都心部に来たというときめきと憩いを期待する地区である。 このため、国内外から多くの人が訪れる都市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりと潤いのある駅前空間とするため、姫路駅北駅前広場を現在の 2.5 倍（6,400 m<sup>2</sup>→16,100 m<sup>2</sup>）に拡張整備する。人が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわいの空間として、現在の駅ビル撤去後の地下空間を活用し、新駅ビルの地下階と地下街とを結ぶサンクンガーデンを整備するとともに、バス、タクシー及び一般車乗降場を機能的に再配置し、歩行者デッキの整備など、公共交通機関の利用者が安全で快適に乗り継ぎができるように交通結節点機能の向上を図る。 さらに、南北駅前広場の役割分担を踏まえた上で、今後、バ</p>	<p><u>社会資本整備 総合交付金(道路 事業(区画)) H23～H26</u></p>		<p><u>(4)からの移設</u></p>					





						隣接街区に一般車乗降場などを設置 面積：約 0.3ha 【実施時期】 H20～H25		姫路駅西地区の新たなにぎわいを創出するものである。駅利用者の利便性をさらに高めるとともに、土地の高度利用によるにぎわいの創出を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。			
J R 姫新線輸送改善事業 (略)	(略)	(略)				J R 姫新線輸送改善事業 (略)	(略)	(略)			
バス 100 円運賃 (ワンコイン運賃) 制度 (略)	(略)	(略)				バス 100 円運賃 (ワンコイン運賃) 制度 (略)	(略)	(略)			
姫路市公共交通バリアフリー化促進事業 (バス) (略)	(略)	(略)				姫路市公共交通バリアフリー化促進事業 (バス) (略)	(略)	(略)			
自転車利用環境整備 (略)	(略)	(略)				自転車利用環境整備 (略)	(略)	(略)			
レンタサイクル事業 (略)	(略)	(略)				レンタサイクル事業 (略)	(略)	(略)			
「体験型集客イベント～まちなかあるき～」の実施 (略)	(略)	(略)				「体験型集客イベント～まちなかあるき～」の実施 (略)	(略)	(略)			
観光バスポート事業 (略)	(略)	(略)				観光バスポート事業 (略)	(略)	(略)			
外国人向け観光振興事業 (略)	(略)	(略)				外国人向け観光振興事業 (略)	(略)	(略)			
木下大サーカスの開催 (略)	(略)	(略)				木下大サーカスの開催 (略)	(略)	(略)			
「姫路のまちを美しく安全で快適にする条例」の推進 (略)	(略)	(略)				「姫路のまちを美しく安全で快適にする条例」の推進 (略)	(略)	(略)			